

陰茎腫瘍に対する治療成績に及ぼす因子の検討

1. 研究の対象

陰茎腫瘍と診断されて当院で治療もしくは経過観察を受けられた方

2. 研究目的・方法

陰茎腫瘍の治療成績や予後には様々な因子が影響を与えることが知られています。これらの因子を検討することにより治療法や予後の改善が期待されます。今回は通常の診療において得られた診療情報の解析を行い、腫瘍に対する治療成績や予後との関連を検討します。研究期間は 2028 年 6 月までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

通常の診療において得られた診療情報を用います。診療情報としては具体的に、身体所見、検査・画像データ、病理所見、などを含みます。個人情報には匿名化し、安全管理措置に留意します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者（照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）：

大阪国際がんセンター 泌尿器科 西村 和郎

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181